

# 事務事業評価シート

H28(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部	
	03111-1	給付事業(障がい者支援事業)	室名	地域福祉室	
	施策体系	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	財	会計 一般会計
		基本施策	05:障がい者の社会参加の促進	務	款 民生費
		施策の方向	03:だれもが暮らしやすい社会に向けた取り組み	科	項 社会福祉費
戦略プロジェクト			目	目 障がい者福祉費	

②目的・概要	対象	①20歳以上の者で身体障害者手帳1級・2級、知的障害者と判定された知能指数が35以下の者、身体障害者手帳3級・4級で知的障害者と判定され知能指数が36以上50以下の者を自宅で介助している人 ②在宅で著しい重度の障害が重複してあるなど、常時特別の介護を必要とする20歳以上の人
	目的	①重度心身障がい者の介助者に亀山市重度心身障がい者介助者手当を支給することにより、福祉の増進に寄与する。 ②著しく重度の障がいの状態にあるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする20歳以上の方に、特別障害者手当を支給することにより、福祉の増進を図る。
	概要	①重度心身障害者1人につき、月額3,000円の手当を、毎年度9月及び3月の2期に支給する。 ②「特別障害者手当等給付費用国庫負担金交付要綱」に基づき特別障がい者手当及び経過的福祉手当の支給を行う。

			27年度	28年度
①	名称	重度心身障害者介助者手当	計画値	
	補足	手当給付率	実績値	100
			単位	%
②	名称	特別障害者手当・経過的福祉手当	計画値	
	補足	広報周知回数	実績値	1
			単位	回
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績				
④事業の計画・実績					①重度心身障害者介助者手当 平成28年度支給実績 支給者数:516人 手当金額合計:17,931,000円			
					②特別障害者手当、経過的福祉手当 平成28年度支給実績 支給者数:16人 手当金額合計:5,185,870円			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	293	平均給与額×③
		事業費		23,400	23,239	一般職員人件費 ②	293	
		国庫支出金		4,117	4,058	所要人員 ③	0.04	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤	0	
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		19,283	19,181			
	再掲	翌年度への繰越額						
	前年度からの繰越額							
	総人件費		①	293				
	総コスト		⑥	23,532				

⑤事業の評価	【事業の成果】	重度心身障がい者介助者手当及び特別障がい者手当の支給により、障がい者及びその介助者への福祉の増進につながった。	総合判定	<b>B</b>
			まずまず進んだ	
	【反省点・課題】	平成22年度事業仕分けにより、重度心身障がい者介助者手当については不要との判定を受けている。平成26年度、第4期障がい福祉計画策定時に対象者へのアンケート調査を行い、廃止への同意が半数以上を占めた。障がい者が自立に向けた生活ができるよう、新たな福祉施策との調整が必要である。		
【改善の方向性】	重度心身障がい者介助者手当については、現金給付に代わるサービスの提供方法について、他の福祉施策と調整を行う。			
事業目的の妥当性: 見直しの余地あり   有効性: 見直しの余地あり   最終評価確認者: 地域福祉室長 水谷 和久				